

○三八上北森林管理署の「採材検討会及び労働災害防止協議会」に出席しました。

青森事務所では毎年、森林管理署等の採材検討会に参加し、技術指導や情報提供などを行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するよう努めています。令和6年10月29日（火）に青森県上北郡東北町の添ノ沢国有林で開催された「令和6年度 採材検討会及び労働災害防止協議会」に、青森事務所から2名出席してきました。

当日は晴天のなか、林業関係団体や県・市町村担当者、署管内の林業事業者など90名を超える参加を得て開催されました。三八上北森林管理署長の挨拶後、署の担当者より事業概要等について説明があり、青森事務所から東北森林管理局管内の需要動向についての説明とともに、今年度の委託販売結果、スギ等針葉樹の4m採材の推進、請負事業実行時の留意事項について説明しました。続いて署の担当者から採材指示等について説明があり、実際の採材の検討に移りました。

会場に準備したヒバ2本、広葉樹1本、スギ1本の計4本の試供木を対象に各試供木について集まった全員で意見を出し合う形で検討を行いました。検討した結果に対して青森県森林整備事業協同組合、青森県森林組合連合会より、採材の解説や留意事項などの情報提供がありました。ヒバに関しては腐れがなく、ある程度の直材であれば8m程度の長尺材の採材が単価も高く有利であること、広葉樹（ナラ）については、根張りのある根元を少し落とし2.4m材で採材すること等、実際の試供木を前に具体的な解説を頂くことで採材への理解が深まりました。また、採材検討の最後には、青森事務所より採材検討の講評と労働安全等についてお話をさせていただきました。

現地ではその後も引き続き、実機を飛行させての産業用ドローンの紹介が行われ、午後は屋内で労働災害防止協議会が開催されました。

青森事務所では今後も採材検討会や労働災害防止協議会へ積極的に参加し、国有林材の有効な利用と労働安全に貢献して参りたいと考えています。



（ヒバの採材解説）



（広葉樹の採材解説）